

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-3-1 人権施策の推進
---------	-----------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	人権同和教育課長 恩田 克幸	電話番号	0852-22-5495
----------	----------------	------	--------------

事務事業の名称	人権・同和教育研究事業		
目的	(1) 対象	幼児児童生徒	
	(2) 意図	人権・同和教育の推進に関する実践的な研究を行い、指導方法等の改善及び充実に資するとともに、その成果を公表して、人権教育・同和教育の一層の充実を図る。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校における人権・同和教育推進体制の強化と、幼児・児童、生徒の人権意識の高揚を図るため、幼稚園1園、小学校2校、中学校2校、高等学校・特別支援学校2校を指定し、2年間の実践研究に取り組み、指定2年目には研究発表会を開催し研究の成果の波及を図っている。小中学校については、文部科学省人権教育研究指定と兼ねる。</li> </ul>		

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	研究発表会の参加者数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		400.00	400.00	400.00	400.00	
式・定義	研究発表会の参加者数		実績値	550.00	500.00	350.00	500.00		
			達成率		125.00	87.50	125.00		%
指標名	式・定義		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	2,877	2,877
うち一般財源(千円)	1,057	1,057

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	(未選択)
---------------------	-------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

研究指定された幼稚園・学校では、地域の実情を踏まえた人権・同和教育の取組が行われている。また、幼稚園・学校だけでなく家庭・地域と連携した実践が行われている。指定校が開催する公開保育・公開授業、各種活動、研究発表会には多くの教職員、保護者、地域の人の参加があり、人権・同和教育の推進・充実に繋がっている。研究発表会の開催や研究集録の作成・配布、県教育委員会ホームページへの指定校の取組の掲載等により、県内の幼稚園・学校への研究成果の波及にも繋がっている。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

- 研究指定された幼稚園・学校の教職員や保護者が、様々な取組を通して、人権・同和教育に対する理解を深めていることがアンケート等の結果からうかがえる。
- 研究指定校の教職員の人権意識の高まりや人権・同和教育に対する理解の深まりにより、これまで以上に子どもの思いや願いに寄り添った関わりができるようになった。
- 研究指定園の取組や実践発表を通して、県教育委員会の人権・同和教育の方針を具体的に示すことができ、県内の各学校への人権・同和教育の理解を広めることができた。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

指定校・園において、研究指定が終わると教職員の異動により、成果が継承されにくい状況がある。

### ②困っている状況が発生している「原因」

・指定期間中の県教育委員会としての指導の在り方や指定後の関わりが弱い。

### ③原因を解消するための「課題」

・日常の教育活動を通して取り組んでいく推進体制の整備やあらゆる教育活動と人権との関わりを明確にし、教職員の共通理解を図る。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

幼稚園・学校に対する指導が研究指定期間中だけでなく、指定後も県教育委員会として関わりを持っていく。また、指定した幼稚園・学校において、研究の成果が継続的に取り組んでいけるよう推進体制の整備・強化及び取組の意義等を十分理解できるよう指導・助言を行う。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）